



和顔愛語

国頭村立奥小学校 学校便り【14号】
平成28年号2月23日 校長：田場 勝

お世話になった方々



新1・2年生（国語、算数）



新3・4年生（国語、算数）



新5年生（家庭科）



新中学1年生（数学）

「国際理解教育」

海外の事を良く知り、よく関わっている方をお呼びし話を聞くことで、物事をグローバルな視点から考える事ができるようになって欲しい。

という目的で、今回は在那覇ブラジル連邦共和国名誉領事の「西原篤一」さんに、奥の大先輩である宮城滋さんの事等も交えながら、『思いやりの心で肝心交流』と題し御講話をいただきました。また、沖縄キリスト教学院大学の「田場安菜」さんに1月にオレゴン州のポートランド州立大学の留学を終えて帰国したばかりの生の体験を『アメリカ留学から学んだこと』と題し御講話をしていただきました。

お二人の講話は、ユーモアを交えながら、子ども達に分かりやすく、とても示唆のある内容となりました。



西原篤一さん



田場安菜さん

「読み聞かせ」

今月も読み聞かせは充実しました。豊かな心を育む教育としての読み聞かせはとても大切です。今回も低学年と高学年に分けて実施していましたが、それぞれに応じた内容がすばらしく、児童は皆真剣に聴いていました。



赤嶺郁代さん



古堅美香さん



山城佐斗美さん

「校長講話」



山内あゆみ先生



今回の校長講話は、史上最年少17歳でノーベル平和賞を受賞した、『マララ・ユフザイ』さんの実話から、彼女の生き様と勉強の大切さを学びました。

「新児童会」



現在の6年生が卒業すると、現4年生の6名が児童会役員となります。実際に2年間児童会役員を勤める事になりますが、奥小学校のより良い発展のために頑張ってください。期待しています！！

「感謝集会、ふれ合い給食」

奥小学校の児童は、日頃は奥区の方々に支えられたくましく成長しております。また、学校は沖縄本島の遠く北に位置しています。そのために各方面の専門家から直に学ぶ事において不利な面があります。しかし、奥区外の国頭村、那覇や首里、嘉手納、読谷等から児童のためだったらと、平日にも関わらず、忙しい時間をなんとか調整し駆けつけていただきました。本当にありがとうございます。そのような方々に直に感謝の意を伝えるという目的で、例年11月に実施していましたが、感謝会を2月に実施いたしました。全部で2団体33名にご案内をいたしましたが、当日は全部で25名の参加となりました。その後、保護者との懇談もかねて、ふれ合い給食も一緒に行いました。ふれ合い給食では、渡慶次ちえ子栄養士による食育の話、星野美千代さんのお礼のあいさつ、そして西原篤一さんの三味線や高江洲春子さんの踊り、また国頭村のマスコットのキョンキョンも登場し、皆楽しいひとときを過ごすことができました。参加された皆様、本当にありがとうございました。



「各学年体験入学」

平成28学年度入学予定の島袋陽さんの体験入学と同時に、各学年の体験授業を開催しました。陽さんは元気いっぱいとても楽しそうに授業に参加していました。また各学年共に進級した学年の授業内容の一端を垣間見ることができ、やる気がでてきたようでした。



陽さん



現在の学級での授業